

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 12月号 (NO44)

2013年12月10日 (火) 発行 (毎月10日)

【農暦】“なるようにしかならない”で行く！

○7日は24の節気の大雪である。2週間後の21日は冬至になる。日は極端に短くなっている。最近は天候が落ち着いている。小春日和の穏やか日が多かった。小春日和と呼ぶのは11月までだと云うので、12月になってからも日和が続いたが小春は付かない。11月半ばの雨で、1回、作業チャンスを逸したら、イベントやら雑事やらで、クルリ棒での黒豆のタタキの最終作業が1日になってしまった。JAへ依頼しての機械での選別が3日になった。霜降で午後からの作業になり、日が短く、作業出来る時間が短いために、1日予定の仕事が2日になるなど予想以上に日数が掛ってしまった。11月中の小春日和の中で作業を終えたかった。量は少ないにも関わらず大幅に遅くなってしまった。相変わらずの遅れ作業である。

○穏やかな気候が続き、今回は異常気象の話題はしないで済むと思っていたら、今日(10日)のテレビで静岡地方?などに竜巻注意報のニュースが流れ、雨足の音を気にしていたら、いきなりの雷鳴である。やはり気候は異常かと思った。寒さも何となく中途半端の様な気がして来た。

○12月に入り、既に忘年会も2回出席、これからも何回か続く。人との関わりを大事にする事が忘年会に出席することなのだとしたらチョット寂しい。忘年会の話題も今年の反省と来年へ抱負がテーマにならないとしたなら、ただの酒宴になってしまう。酒がなければ、ただの食事会になる。「乗るなら飲むな」ではないが笠間では外での飲酒は少ない。酒は強くないが嫌いではないので誘いには参加するようしている。畑の片付けより酒宴を優先しているようで、先約の事とは言え少し気なる。このままだと、片付けや整理など先送りしそうである。

○いつもながら反省ばかりであるが、来年の畑を如何にするか、整理して置きたいと思っている。①少量を丹精込めて②先手の作業③手間のかからないものにするなど、キーワードはあるのだが、何れも苦手とする事ばかりである。最後は“ならぬものはならぬ”ではなく“なるようにしかならない”になるのかも知れない。だが、悩むプロセスは大事にしたいと思うのである。夏野菜などの片付けが終わっていない畑を眺めながら、残り僅かに



<黒豆も乾燥> 1回目は終わり、2回目の作業のタイミング待ちのもの。24日撮影

なった黒豆の選別と袋詰め作業をしている。

【楽農】収穫作業は終了する！

<ハウス> ; 片付け待ちのまま。

<畑A> ; 大根は小振りながら収穫可、白菜は？
移植のネギは元気。

<畑B> ; 菊芋の収穫、黒豆の抜き取りに（19日最終）

*小豆、金時豆、黒小豆、黒豆の収穫、選別、僅かだが出荷。



<クルリ棒>黒豆を莢から叩いて採る。少量で、短時間の作業だが、日が短く2日作業を2回。1日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○ピッコロファームの例会（27-28日）

・久しぶりに例会を持ち、これからの活動について決め、恒例の懇親会を行った。

*例会記録はブログに掲載

○水戸自然のネットワーク収穫祭に参加（30日）

・栽培作業に参加出来ていないが自由な雰囲気(ルール)に甘えて参加する。年々多彩な人が集まって来ている。今年も多勢の人が集まり、楽しく美味しい1日となった。種も何種類か頂いた。

○その他；

・共生の会（24日）、山岳会（現役・OB）忘年会（6日）、栗栽培講習会（8日）山野草の会の忘年会（8日）に参加する。最近、実活動のない忘年会は気になる。どうらく do どうら dodd 酒宴だけでも悪くはないが、、、。

【つぶやき=Tweet】特別秘密保護法は大変！

○忘年会の時期故に、酒とはと、三国志の曹操は“酒を飲むなら歌おうではないか人生は短いもの<略>ただ杜康(=酒)あるのみだ”と詠んでいる。今年、詩吟の会で習ったが李白の「客中の作」もそうだが、漢詩には酒の歌が多い。本棚にあった”酒[SAKE] “のまえかきには”酒を知らずして、人間を語れず、歴史は説けず、女は口説けないのである。“の文言があった。クレオパトラの鼻ではないが酒で歴史が変わったかもしれない。個々人の人生の刻みは間違いなく深くしている。幸か不幸か何れかに振れる事は確かである。最近の酒の飲み方も大きく変わって来ている。楽しい酒を多く飲みたいものである。酒宴の機会が多い年末年始の今、酒とは？が気になる。人生の肥やしや潤いにしたいものである。

○秘密保護法案が6日の参院で強行採決された事を恒例になっている忘年会で深夜に帰宅して知った。多くのいろいろな立場の人が反対していたので廃案になるのではないかと期待と楽観とがあった。こんな法案が可決されたら大変な国になってしまうと思っていたので、何も出来ないでいる自分が情けなくなった。酔って帰宅して知ってショックだった。隣国の先日の公開処刑・ナンバー2失脚のニュースと短絡的にダブリ、重い気分になった。

○朝日の「異議あり、特別秘密保護法」に、いろいろの人の意見が連続掲載されていた。俳優の菅原文太さん（26日）ノーベル物理学受賞者の益川敏英さん（28日）漫画家の小林よしのりさん（29日）ジャーナリストの鳥越俊太郎さん、新右翼一水会も鈴木邦男さん、社会学者の上野千鶴子さん（3日）など反対意見を述べている。多くの映画、報道関係者、財界などいろいろの立場の人が反対している。超保守と思っていた国会議員なども反対している。福島県議会なども反対するなど多勢の人（**継続審議51%廃案22%計73%**）が反対する中での衆院に続いて参院での採決強行である。安倍政権を選んだ国民の責任は重いと感じたと言っている人もいたが、これからは、この法律を廃止する活動が問われると思う。平和ボケを変えるのであれば、戦争にではなく、恒久平和にだと思ふ。子供や孫に、こんな社会、こんな国にしてしまった、と言われる様な事にはしたくない、と思うのは私だけではないだろう。



＜水戸自然農ネットワーク収穫祭＞
会員手作り品販売、種苗交換もあり、
年々参加者が増えている。30日撮影

＜特別秘密保護法とは記事で紹介・解説＞

○10日の朝日の朝刊に「どうする秘密法案」見出し記事に八重の桜で馴染みの同志社大の教授の浜矩子が書いていた。時代錯誤の「富国強兵」の見出しで安倍政権の本性を的確に云い当てていた。“経済政策のアベノミックスは「富国」を、今回の特別秘密保護法や国家安全保障会議が「強兵」を担い、明治時代の「富国強兵」を目指しているように見えます。この両輪で事実上の憲法改正を狙い、大日本帝国を取り戻そうとしているかのようです。”と云っている。また“「デフレからの脱却」＜略＞その内実は人々ためというよりも、全体の成長を重視＜略＞国民のためでなく国家のため＜略＞成長のためなら、と働く人たちの解雇規制を緩め＜略＞国家重視の中で、福祉などの市民活動にはお金が回らなくなるかも知れません。安倍政権とは距離を置こうと雰囲気を感じます。2月のオバマ米大統領との首脳会議では晩餐会がありませんでした。中韓とは無用な緊張が高まっており、日本が国際的に孤立する恐れもあります。”と云っている。5日武器原則禁輸を撤廃の新原則を作るなどとキナ臭い政策を次々と進めている。“戦前のような不気味さと平和が終わる予兆を感じる”と別の記事に書いている人がいたが実感なので重苦しい気分になる。

*土楽たよりの性格と違う“秘密保護法案”について、紙面を多く使った事を了承頂きたく思います。可なり大変な事になるとの思いを深くしていますので、ご理解をお願いするものです。

【後記】良い年を迎える準備期間と想っています。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.ne.jp

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>